

港区・関東大震災100年継承プロジェクト「防災を学ぶ日」の開催について

1 目 的

大正12年9月1日に発生した関東大震災は、近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震であり、南関東から東海地域に及ぶ地域で死者・行方不明者が10万人を超えるなど、甚大な被害をもたらしました。

また、令和4年5月25日に東京都防災会議が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」では、都心南部直下地震など、南関東地域におけるマグニチュード7規模の地震が、今後30年以内に70%の確率で発生するとされています。

これらを踏まえ、関東大震災から100年目の節目となる本年9月、区民一人ひとりに災害に備えることの大切さをあらためて考えてもらう機会を設け、総合防災訓練への参加や在宅避難に向けた備蓄の充実など、地域防災力の強化につなげていくことを目的とし、事業者や警察署、消防署、連携自治体、区内の高校生等との協働のもと、啓発事業を実施します。

2 日 時

令和5年9月2日（土）午前10時から午後5時まで

3 場 所

みなとパーク芝浦、芝浦公園

4 内 容（予定）

- (1) みなとパーク芝浦（1階総合受付付近、リーブラホール、2階学習室、5階サブアリーナなど）
 - ア 区の防災事業の案内
 - イ 事業者や連携自治体の取組紹介
 - ウ 防災関連商品の展示
 - エ 起震車体験
 - オ 防災講演会、防災をテーマとした体験講座（ハザードマップの見方など）
 - カ 区内5校の高校生との協働による防災啓発動画の上映
 - キ AED設置協力企業等との協定記念式及び研修用動画の試写
 - ク ペットの飼い主に向けた防災の周知啓発
 - ケ 防災とスポーツを組み合わせた競技型の体験プログラム（毛布担架障害物競争など）

(2) 芝浦公園

- ア パトカー、消防車との写真撮影、制服着衣体験など
- イ 事業者による給電車、テントなどの展示、デモンストレーション
- ウ 福島県双葉町など被災地支援活動を行っている団体による和太鼓の演奏など

5 区民への周知

令和5年8月21日 広報みなと8月21日号

8月下旬 区設掲示板へのポスターの掲示

町会・自治会等へのチラシの配布、地域防災協議会への周知

区ホームページ、ツイッターでの情報発信